

NEWS

01

特集

膵臓がん —高い悪性度と早期発見の重要性—

02

高齢者歯科・
全身管理歯科のあゆみ

03

画期的ながん治療
「CAR-T療法」

新任科長
紹介

04

国際診療支援
センター(IPAC)とは?

05

九州大学病院別府病院
市民公開講座を開催しました

06

九大病院トピックス

07

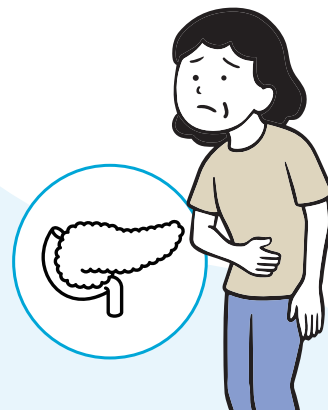
九大病院基金へ
ご寄附のお礼



膵臓がん

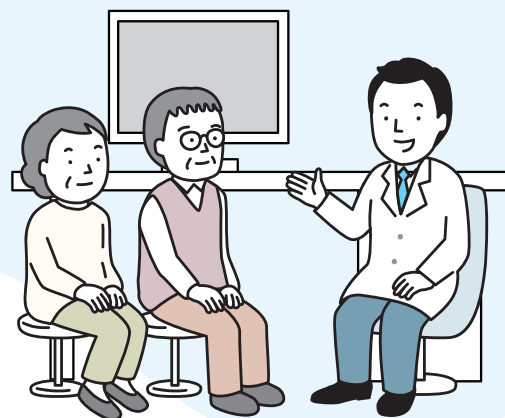
— 高い悪性度と早期発見の重要性 —

九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学分野 教授 中村 雅史
胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科/助教 井手野 昇



膵臓がんとは？

膵臓がんは年齢とともに発症率が急増し、50代と比べて80代では約10倍になります。高齢化が進む日本では患者数も増加中です。しかし、胃がんや大腸がんとは違い、膵臓がんで助かる人は10%未満にとどまっています。診断・治療技術は進歩しているものの、1990年代以降、生存率は大きく改善していません。その主因は早期診断の難しさにあります。



小さな腫瘍を見つければ 助かる可能性が高まる

腫瘍が2cm以下で見つければ、約半数の患者さんが長期生存できます。ところが2cmを超えると、10年後に生存している割合は10%ほどに急落します。しかし、膵臓がんの初期症状ははっきりせず、早期発見できるのは全体の約5%です。これが治療成績が伸び悩む最大の理由です。



膵臓がん
早期診断法
開発はなぜ
必要なのか？

1cm以下で膵臓がんが見つかる確率 ▶ 0.82%

1-2cmで膵臓がんが見つかる確率 ▶ 4.2%

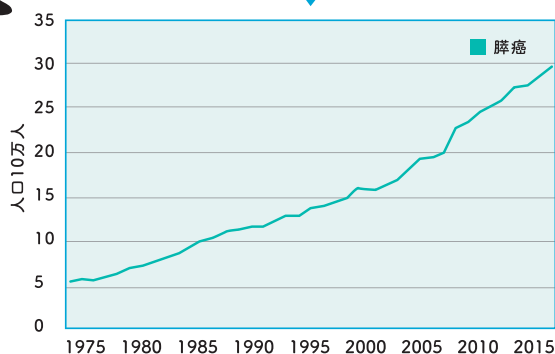
※切除された膵臓がんのうち

Egawa S. et al, Pancreas. 2012

早期診断の
多くは偶然

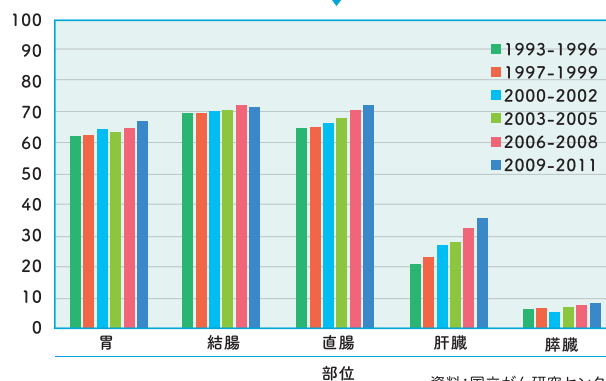
膵臓がんの罹患率

近年上昇傾向にあります



がんの5年生存率

膵臓がんは他のがんに比べて低いです



資料：国立がん研究センター

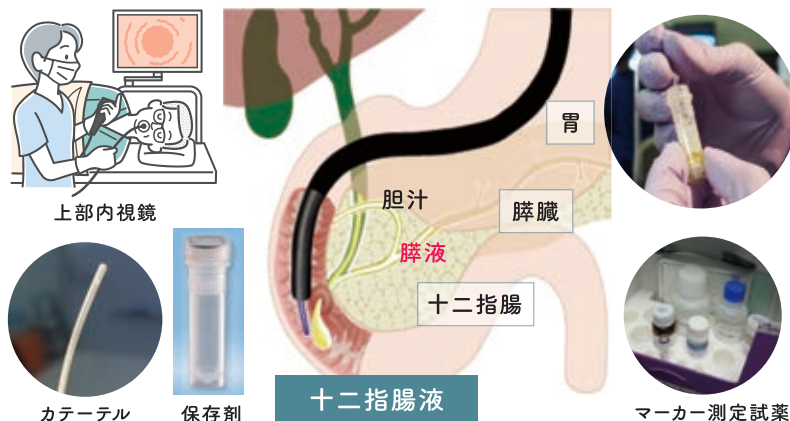
十二指腸液を使った 新しい診断法

十二指腸液S100P検査

十二指腸液中のS100Pマーカーク濃度を測定
一般的な腫瘍マーカー検査と同じ測定法、安価

膵臓がんは腹痛や胃もたれなど一般的な症状で始まるため、最初に胃の検査だけでは見逃されがちです。血液の腫瘍マーカーも膵臓がんだけを特定するには不十分でした。

私たちは、胃カメラ検査の際に膵液分泌を促すセクレチン(膵液分泌ホルモン)を使用することなく採取した十二指腸液に着目。セクレチンは国内の保険適応がない薬剤ですが、研究目的でより多くの膵液を採取するために使用されることがある薬剤です。採取した十二指腸液から、膵臓がん細胞が多く作るタンパク質S100Pを測定するシステムを開発しました。



研究成果

国内外の4つの臨床試験(計1,140名:膵臓がん333名、その他膵疾患430名、健康な方377名)で性能を検証した結果、右の成績が得られました。

これにより、安全かつ比較的簡便に膵臓がんを早期発見できる可能性が示されました。

指標	数値
感度(がんを見つける割合)	82.4 %
特異度(がん以外を除外する割合)	77.6 %
陽性的中率	62.2 %
陰性的中率	90.8 %

今後の 展望



この検査は胃カメラの追加オプションとしてだけでなく、**[原因不明の腹痛が続く方][膵臓がんのリスクが高い方(糖尿病、肥満、喫煙歴、家族歴、膵嚢胞など)]**のスクリーニングにも活用できると期待されています。

今後は大規模な臨床性能試験を行い、最終的に薬事承認を目指します。

膵臓がんは“見つけにくい”がゆえに恐れられてきました。早期発見を可能にする新しい検査法の実用化が、患者さんの希望となることを目指しています。



2025年2月に記者発表を行いました

問い合わせ先／092-642-5441(平日のみ 9:00~17:00)

研究組織

九州大学大学院医学研究院 臨床・腫瘍外科学分野／

九州大学病院 胆道・膵臓・膵臓移植・腎臓移植外科 中村雅史 病院長/教授、井手野昇 助教、大内田研宙 准教授、田中雅夫 名誉教授

共同研究機関(現施設代表者、敬称略)

- | | | | |
|---------------------------|------------------|------------------------|--------|
| ●JA尾道総合病院 消化器内科 | 花田 敬士 | ●山梨大学医学部附属病院 消化器内科 | |
| ●九州大学病院メディカルインフォメーションセンター | 徳永 章二 | ●独立行政法人地域医療機能推進機構 山梨病院 | 深澤 光晴 |
| ●鹿児島大学病院 消化器外科 | 大塚 隆生 | ●戸畑共立病院 消化器病センター | 宗 祐人 |
| ●産業医科大学第一外科学教室 | 森 泰寿 | ●近畿大学病院 消化器内科 | 竹中 完 |
| ●Mayo Clinic Jacksonville | Massimo Raimondo | ●千葉県がんセンター 消化器内科 | 須藤 研太郎 |
| ●愛知県がんセンター 消化器内科 | 原 和生 | ●福岡赤十字病院 消化器内科 | 青柳 邦彦 |
| ●手稲溪仁会病院 消化器内科 | 瀧沼 朗生 | ●鹿児島大学病院 消化器内科 | 橋元 慎一 |
| ●和歌山県立医科大学附属病院 消化器内科 | 北野 雅之 | ●九州大学病院ARO次世代医療センター | |

高齢者歯科・全身管理歯科のあゆみ

～周術期口腔管理と多職種連携による質の高いチーム医療の実現を目指して～

高齢者歯科・全身管理歯科/助教 井上 良介



高齢者歯科・全身管理歯科とは？ — 手術や内科的治療を受ける患者さんを、歯科医療の面から支えます—

当科は1994年3月に「特殊歯科総合治療部」として設立され、心臓・循環器系に疾患のある患者さんやHIVなどの感染症患者さんを受け入れる部門としてスタートしました。その後、2000年に「全身管理歯科」、2016年には「高齢者歯科・全身管理歯科」と名称を変更しながらスタッフの充実を図り、受け入れ患者数も徐々に増加してきました。

基礎疾患を有する、特に全身管理が必要な患者さんを主な対象としており、当院や近隣の医療機関で治療中の方で、手術や内科的治療に際して歯科的介入が必要な患者さんが多く受診されています。設立当初から、手術前の口腔内感染源の精査や、気管内挿管時に問題となる動揺歯(ぐらつきのある歯のこと)の対応などを行っていましたが、2014年には「周術期口腔ケアセンター」が設立され、歯科全体で周術期口腔管理を担う体制が整いました。センターは順調に受け入れ患者数を伸ばし、現在では年間の初診患者数が3,000名を超え、当科は「口腔総合診療科」とともに中心的な役割を果たしています。

医科歯科連携によるチーム医療の実践

当科は、口腔管理が難しいとされる、心臓血管外科手術を受けるすべての患者さんや血液・腫瘍・心血管内科で化学療法や骨髄移植を受けるすべての患者さんを受け入れ、医科との連携のもとで歯科的支援を行っています。

さらに、入院中の摂食嚥下障害を有する患者さんに対しては耳鼻科と連携し、摂食嚥下リハビリテーションを実施しています。周術期においては、術後早期の経口摂取開始を目指すことで、入院期間の短縮にも努めています。

また、脳外科、耳鼻科、血液・腫瘍・心血管内科、補助人工心臓チームなどとのカンファレンスにも参加し、情報共有を行いながら、多職種が連携するチーム医療を実践しています。



高齢者歯科・全身管理歯科 集合写真

問い合わせ先／外来 092-642-6483(平日のみ 9:00～17:00)

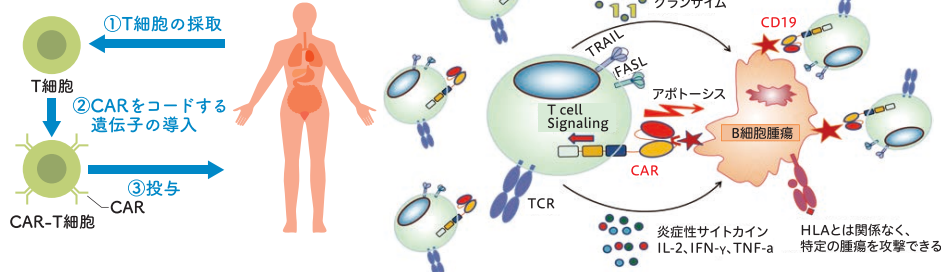
画期的ながん治療 「CAR-T療法」

血液・腫瘍・心血管内科/准教授
遺伝子・細胞療法部/部長 加藤 光次



CAR-T療法とは？

九州大学病院では、難治性の白血病・悪性リンパ腫・多発性骨髄腫の治療に有望な「CAR-T療法」を積極的に実施しています。CAR-T療法とは、患者さん自身のリンパ球を採取し、遺伝子操作でがん細胞を攻撃する力を持つT細胞を作り出し、それを体内に戻す最先端の遺伝子免疫細胞治療です。これにより、従来の治療で効果が得られなかった患者さんにも治療の可能性をもたらす治療として期待されています。



“Living Drug” CAR-T

腫瘍抗原CD19に反応したCAR-T細胞は、体内で急激に増幅、その後数年以上にわたり体内で生存し続け、腫瘍を根絶

CAR-T療法の中心施設としての取り組み

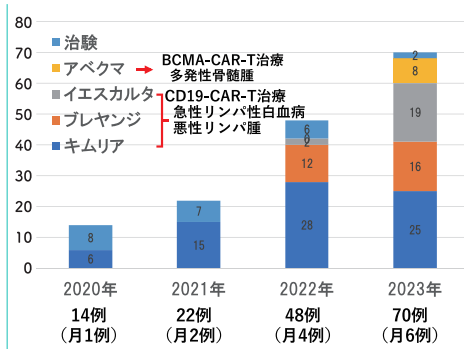
当院は2017年に全国に先駆けてCAR-T療法の治験を開始しました。2019年には、再発難治性の急性リンパ性白血病とびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫に対するCAR-T製品「キムリア」が国内で承認されました。その後、九州全域の患者さんを中心に保険診療での治療を開始し、CAR-T療法の中心施設として多くの患者さんの治療を行っています。

1回の治療には3000万円以上の費用がかかる高額な治療ですが、高額療養費制度の利用は可能で、患者さんからのニーズも高く当院での治療件数は年々増加しています。特に、CAR-T治療中の安全管理や副作用への対応も徹底しており、患者さんが安心して治療を受けられる体制を整えています。

さらに、CAR-T療法の有効性や安全性の向上のため、独自の基礎研究も展開しています。新たな試みとして、自己免疫疾患や固形腫瘍に対するCAR-T療法の治験も既に開始しており、造血器腫瘍の枠を超えて、このCAR-T療法が多くの疾患でこれからひろく応用されていくことが期待されています。

今後もCAR-T療法の研究と普及に努め、難治性がん患者さんに新たな希望を提供できるよう取り組んでいます。

九州大学病院におけるCAR-T療法の実施状況



問い合わせ先/092-642-5228(平日のみ 10:00~16:00)

新任科長紹介



消化管内科/
腎・高血圧・脳血管内科

診療科長 吾郷 哲朗

introduction

当科は、生活習慣病(高血圧・糖尿病)をはじめ、それに関連する脳や腎臓の病気、さらに消化管(胃や腸)の病気など、多くの方がかかりやすい疾患の診療を担当しています。他の診療科にご入院中の患者さんについても、ご依頼を受けて診察にうかがうことが多く、患者さんお一人おひとりに寄り添い、からだ全体を見すえた思いやりのある医療を心がけています。ご心配やお困りのことがありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

主たる疾患

高血圧、糖尿病、脳血管障害(脳梗塞、脳出血、認知症)、腎疾患(慢性腎臓病・腎炎)、消化管疾患(ポリープ・がん、炎症性腸疾患)

主たる治療

薬物治療、
血液透析・腹膜透析、
消化管・内視鏡治療

国際診療支援センター (IPAC) とは？

国際診療支援センター長 中島 直樹



国際診療支援センター (International Patient Support Center・IPAC (アイパック)) は医師、医療通訳者、事務職員等9名のスタッフで活動しています。海外からの外国人・日本人患者さんの受け入れ相談や手続き、国内在住の外国人患者さんの受け入れ、海外との遠隔医療相談、そして院内体制整備のため各部署と連携を取り、日々業務に取り組んでいます。

医療通訳の現場

医療通訳者2名 (英語・中国語) の活動の場は、診察室や病棟、検査や手術の場面だけではなく、医療費や福祉の説明、さらにビザや滞在資格に関する外部との調整等多岐に渡ります。医療従事者や患者さんの言語を、正確にわかりやすく表現するため、語学力や医学的知識に加え、患者さんの文化や社会的背景への配慮が求められます。

年々増加・多様化する国際患者受け入れ病院として

IPACの活動は幅広く、最近では、医療現場で宗教的配慮が求められるイスラム教とヒンドゥー教に関するYouTube動画や、国際患者さん向け多言語リーフレットの作成も行いました。病院と患者さんの相互理解のため、これらのリソースをニーズに合わせて拡大したいと考えています。



イスラム教
について



ヒンドゥー教
について



当院整形外科-モンゴル患者間の遠隔医療相談の様子
患者家族が英語-モンゴル語を通訳し、院内英語通訳との
リレー通訳の形で実施。



通訳介入後に。
医療通訳者(左)、
患者さんご家族(中央)、
社会福祉士(右)

問い合わせ先/bynkokusai@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学病院別府病院 市民公開講座を開催しました

九州大学病院別府病院では、診療内容を広く市民の皆さまに公開し、別府病院への理解と信頼を深めていただくため、市民公開講座を実施しております。

今回は、「世界最先端の薬物療法・腰痛に対する治療法」をテーマに、令和7年6月29日(日)に別府市公会堂にて開催しました。三森功士病院長が座長を務め、内科と整形外科の医師がそれぞれ「悪性腫瘍」、「リウマチ・膠原病」、「腰痛」について、最新の治療法や薬物療法について分かりやすく解説しました。当日は多くの市民の方々にご参加いただき、活発な質疑応答も行われました。これらの病気でお悩みの方は、ぜひ九州大学病院別府病院までお気軽にご相談ください。今後も、市民の皆さまに役立つテーマを取り上げ、定期的に関係してまいります。ぜひご参加ください。



会場の様子



(左から) 三森病院長、播谷教授、
三苦准教授、是石医師

講演テーマ

悪性腫瘍

～自分に合った治療法を見つける～

腫瘍内科/医師
是石 咲耶

リウマチ・膠原病

～難病からコントロールできる疾患へ～

リウマチ・感染症内科 (内科 診療科長) / 准教授
三苦 弘喜

加齢と腰痛

整形外科 診療科長/教授
播谷 勝三



ハローキティがPICU・小児医療センターに遊びに来てくれました！

5月12日(月)、PICU・小児医療センターに、株式会社サンリオのキャラクターであるハローキティが遊びに来てくれました。

この活動は、サンリオの社会貢献活動「Sanrio Nakayoku Project」の一環で、ハローキティが世界中の病院、施設、被災地等を訪れて笑顔を届ける「Sanrio Character Aid」という取り組みによるものです。



病室訪問

入院中の子どもたちはキティちゃんと手遊びや写真撮影などの交流を楽しみ、素敵なプレゼントもいただきました。

子どもたちはもちろん、子どもたちのご家族、医師や看護師ら医療スタッフもキティちゃんの可愛さに癒やされ、心温まるひとときとなりました。



素敵なプレゼント



PICU前で スタッフ集合写真



小児医療センター スタッフ集合写真

© 2025 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. GS660004

九大病院基金へのご寄附のお礼

九州大学病院基金へ多大な貢献をいただきましたことに感謝の意を表し、ご寄附いただいた皆様のご芳名を掲載させていただきます。

寄附者ご芳名

※2025年1月1日から2025年4月30日までに寄附をいただいた方のご芳名を掲載しております(五十音順)。公表を希望されない方は、掲載しておりません。



■ 個人の皆様

浅原 睦代様 石田 靖子様 今田 俊子様 王 翠翠様 小畠 恵里様 久間 博喜様 小池 優子様
越迫 正幸様 白井 裕之様 田代 光樹様 永井 康子様 中村 公明様 早田 智津子様 堀内 崇様
前田 英史様 山崎 浩史様 山下 和海様 横田 薫様

他11名(計29名)

■ 企業・団体等の皆様

有限会社公共システム研究所 取締役 大山 宣廣様 株式会社竹中庭園緑化様 株式会社西田商事様

(計3企業団体)

九州大学病院基金はクレジットカードもしくは金融機関からの振り込みでお受けします。



九州大学病院基金HP <https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp/info/kikin/>

Information

患者さんへのお知らせ

外来会計呼出し状況が スマートフォンから 確認できるようになりました

九州大学病院コンシェルジュ(アプリ)から外来会計呼出し状況を確認できるサービスをはじめました。お支払いが可能となった外来当日番号をスマートフォンやタブレットからご覧いただけます。

会計待ち時間の有効活用のために、ぜひご利用ください。

九州大学病院
コンシェルジュ
(アプリ)の登録は
こちら

▼iOS



▼Android



※AppleおよびAppleロゴは、AppleInc.の商標です。AppStoreはAppleInc.のサービスマークです。
※GooglePlayおよびGooglePlayロゴは、Google LLCの商標です。

九州大学病院コンシェルジュ(アプリ)トップ画面の「会計表示盤」アイコンをタップいただくと、現在の呼出番号ライブ配信画面に移動します。



※ライブ配信視聴中は通信費が発生しつづけます。視聴時間にご注意ください。



九州大学病院
Kyushu University Hospital

2025年7月発行

企画・発行／九州大学病院広報委員会

福岡市東区馬出3-1-1 TEL:092-642-5205(総務課広報室)

<https://www.hosp.kyushu-u.ac.jp>